5 認知症に関すること

(1) 相談先・医療機関など

①相談先

相談先	住所	電話番号
上天草市地域包括支援センター	松島町合津 7915-1 高齢者ふれあい課内	0969-28-3378
上天草市大矢野在宅介護支援 センター	大矢野町登立8531	0964-56-0119
上天草市姫戸在宅介護支援 センター	姫戸町姫浦 3055-106	0969-58-3633
上天草市龍ヶ岳在宅介護支援 センター 上天草市地域包括支援 サブセンター龍ヶ岳	龍ヶ岳町高戸 1419-19	0969-62-1124
上天草市認知症地域支援推進員	大矢野町中 11582-1 社会福祉協議会大矢野町支所内	0964-56-3470

②認知症サポート医(厚生労働省)

認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他支援を行い、専門医療機関や 地域包括支援センター等への連携の推進役となる医師

氏名	勤務先	電話番号
脇田 富雄	上天草市立上天草総合病院	0969-62-1122

③かかりつけ医認知症対応力向上研修(ステップアップ編)修了者(熊本県)

(名簿公表同意者)

		くしたログラ心した
氏名	勤務先	電話番号
中村修	中村医院	0964-56-0003
吉田 理	吉田クリニック	0964-57-0246
猿渡 和典	介護老人保健施設 ほんごう苑	0964-56-5110
村上 眞人	村上医院	0969-58-3102
山内 穣滋	やまうち医院	0969-56-0899
春田淳	春田医院	0969-56-0052
岸川 秀樹	上天草市立上天草総合病院	0969-62-1122

④熊本県認知症疾患医療センター

	相談先	住所	電話番号
基幹型	熊本大学医学部付属病院	熊本市中央区本荘 1-1-1	096-344-2111
	山鹿回生病院	山鹿市古閑 1500-1	0968-44-2338
	菊池病院	合志市福原 208	096-248-8012
	くまもと青明病院	熊本市中央区渡鹿 5-1-37	096-366-2308
	くまもと心療病院	宇土市松山町 1901	0964-22-1081
地域	天草病院	天草市佐伊津町 5789	0969-23-6111
拠点型	荒尾こころの郷病院	荒尾市荒尾 1992	0968-62-0838
	阿蘇やまなみ病院	阿蘇市一の宮町宮地 115-1	0967-22-7600
	益城病院	上益城郡益城町惣領 1530	096-286-3611
	平成病院	八代市大村町 720-1	0965-65-8001
	吉田病院	人吉市下城本町 1501	0966-22-4051
連携型	みずほ病院	水俣市袋 705-14	0966-63-5196

[※]まず、かかりつけの医師に相談や問い合わせすることをお勧めします。

⑤その他の相談先

相談先	住所など	電話番号
熊本県認知症コールセンター (認知症ほっとコール)	熊本市中央区上通町 3-15 ステラ上通りビル 3 階 ※65歳未満で発症する 「若年性認知症」の相談も可。	096-355-1755
公益社団法人 認知症の人と家族の会	※10:00~15:00※毎週土・日・祝日は定休日	0120-294-456

(2) ボランティア

①認知症サポーター

認知症についての正しい知識を持ち、認知症の人や家族を応援し、誰もが暮らしやすい地域をつくっていくボランティアです。

②認知症協力応援隊員

認知症サポーター養成講座を受講した後、認知症協力応援隊員養成研修を修了したボランティアです。(47ページ資料①参照)

(3) 集いの場

(1)認知症カフェ(通称『オレンジカフェ』)

認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合うことが目的です。

認知症の方を中心に集まることで、認知症の方の居場所が確保されるとともに、認知症に 関する悩みや介護に関する情報交換の場となり、社会とつながることができます。

カフェ名	場所	開催日時
オレンジカフェ大矢野	大矢野老人福祉センター	毎月第2・4 木曜 10:00~11:30
なの花カフェ	上天草市社会福祉協議会本所	毎月第2・4 水曜 10:00~11:30
オレンジカフェ教良木	内野河内地区集会所	毎月第3金曜 10:00~11:30
オレンジカフェ姫浦	翔洋苑地域交流スペース	毎週火曜 10:00~12:00
きんぎょカフェ	樋島老人福祉センター	毎月第3水曜 10:00~11:30

※参加費 200 円

問合せ先 上天草市社会福祉協議会 大矢野町支所 0964-56-3470

②認知症の人の介護者のつどい ※無料

認知症の人の介護者同士の意見交換やリフレッシュを目的に開催します。

場所	開催日
松島総合センターアロマ 1 階研修室	偶数月の最終水曜日

時間 10:00~12:00 ※参加費無料

問合せ先 上天草市社会福祉協議会 大矢野町支所 0964-56-3470

(4) 見守りネットワーク(認知症高齢者見守り事業)

お出かけして自宅等に戻れなくなる可能性のある高齢者を事前に把握し、もしもの時に早めに捜索できるようネットワークの構築・運用をします。また、普段からの見守り体制の構築を図ります。(48ページ資料②参照)



(5) 認知症地域支援推進員

医療・介護等の支援ネットワーク構築

- ●関係機関との連携体制の構築
- ●認知症ケアパスの作成・普及 など

市町村

協し

認知症 地域支援推進員

関係機関と連携した事業の介画・調整

- ●病院・施設等における処遇困難事例の検討及び個別支援
- ●効果的な介護方法などの専門的な相談支援
- ●「認知症カフェ」等の開設
- ●認知症多職種協働研修の実施
- ●社会参加活動のための体制整備
 - ・市町村が適当と認めた者による農業、商品の製造・販売、食 堂の運営、地域活動等の社会参加に対する支援
 - ・専門家を派遣する等、利用者に対する技術・専門知識の指導・ 助言
 - ・マルシェ等イベントの開催支援

など

相談支援•支援体制構築

- ●認知症の人や家族等への相談支援
- ●必要なサービスが認知症の人や家族に提供されるための調整

厚生労働省ホームページ参照

(6) 認知症初期集中支援チーム

認知症の人やその家族に対して、早めの診断や、適切な医療サービス・介護サービス等の利用の支援を行います。医療・介護・福祉の専門職で構成されたチーム員が自宅へ訪問し、一定期間(おおむね6か月以内)集中的に支援します。(上天草市地域包括支援センター内に設置)(49ページ資料③参照)

(7)認知症ケアパス

認知症発症予防から人生の最終段階まで、認知症の容態に応じ、相談先や、いつ、どこで、 どのような医療・介護サービスを受ければいいのか、これらの流れをあらかじめ標準的に示 したものです。(50~53ページ資料④参照)

(8)安全運転相談

警察では、自動車等の安全な運転に不安のある高齢ドライバーやそのご家族からの相談を受け付けています。

- 〇安全運転相談ダイヤル 「#8080」
- ○運転免許試験課安全運転相談係(試験関係)

096-233-0116(内線 441)

運転免許課安全運転相談係 (更新関係)

096-233-2229(直通) または 096-233-0110(内線 381、382)

〇上天草警察署 0964-56-0110

警察庁・熊本県ホームページ参照



認知症協力応援隊員は 認知症の人やその家族の力になります!



認知症協力応援隊員とは

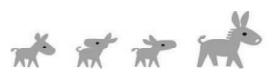
認知症協力応援隊員とは、認知症サポーター養成講座を受講した後、認知症協力応援隊員養成研修を修了したボランティアのことです。

活動内容

- ①認知症の人や家族に対する話し相手や簡易な手伝いなどの生活 支援活動。
- ②市などが実施する認知症対策事業への協力活動。

例えば、こんなこと・・・

- ○認知症の人や家族の自宅へ行き、話し相手になる。
- ○認知症について近所の人や、友人に伝える。
- ○地域で、認知症の人かなと思ったらその人に声をかけてみる。
- ○認知症について困っている人がいたら、相談先を紹介する。
- ○認知症の人とお散歩や趣味活動をする。
- ○認知症の人と一緒にお茶をしたりショッピングをしたりする。
- ○認知症の人の介護者のつどいでお手伝いをする。
- (注意) 一般市民が認知症の人や家族を支えるボランティアで すので、身体介護や家事代行などは行えません。





【問い合わせ・依頼】

上天草市社会福祉協議会 認知症地域支援推進員

(大矢野支所) 0964-56-3470

(本所) 0969-56-2455 (姫戸支所) 0969-58-2556 (龍ヶ岳支所) 0969-63-0909

上天草市役所 高齢者ふれあい課 地域包括支援係 0969-28-3378



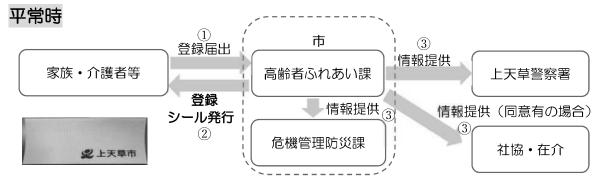
徘徊高齢者等見守りネットワーク事業

~事業の説明~

事業目的

みんなも登録してね

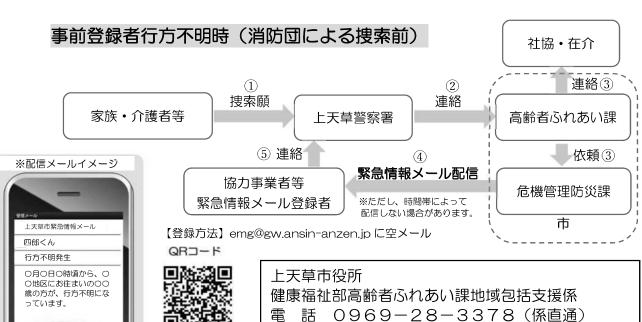
認知症による徘徊から行方不明になるおそれのある高齢者等の生命及び身体の安全を確保するため、関係機関等による支援体制を構築し、その家族等を支援することを目的とします。





天草市緊急情報 メール登録用





熊本県警の情報配信(ゆっぴ一安心メール)を希望される方は、 k110@ansin.police.pref.kumamoto.jpに空メールするか、右の QRコードでの登録をお願いします。

メールアドレス kourei@city.kamiamakusa.lg.jp



QRJ-F

ひどい物意れや展現症の国りととなどをはとれるとなると

認知症初期集中支援チームがお手伝いします。

認知症初期集中支援チームとは?

認知症初期集中支援チームは、認知症の人や認知症の疑いのある人、その家族のもとに訪問して、 認知症についての困りごとや心配ごとなどの相談に対応する、認知症の専門家たちによって構成さ れたチームです。

認知症は誰もがなる可能性があり、早めの対応が必要です。ひとりで抱え込まず、まずは上天草市 地域包括支援センターやサブセンター、お住いの在宅介護支援センターなどにご相談下さい。

認知症初期集中支援チームってどんなことをするの?

認知症の人やその家族に対して、認知症かどうか診断したり、適切な医療サービスや介護サービスを紹介したりするために、チーム員が自宅に訪問して一定期間(おおむね6か月以内)集中的に支援します。

チーム員は どんな人たちなの?

医療・福祉・介護の専門家たちによって 構成されています。

- ●医師 ●保健師 ●看護師
- ●社会福祉士 ●介護福祉士
- ●精神保健福祉士 など

対象となる人は?

40 歳以上の自宅で生活している認知症 の人や認知症が疑われる人で、

- ●認知症の診断を受けていない人や治療を中 断している人
- ●適切な医療サービスや介護サービスを受けていない人
- ●医療サービスや介護サービスを利用していても症状が悪化して対応に悩んでいる人

などが対象となります。

どうして 「早めの対応」が必要なの?

認知症は、現在完治が難しい病気とされていますが、早期に発見して適切な処置をすれば、その人らしい充実した暮らしを続けることができるからです。

メリット 1 早期治療で改善も期待できる 認知症の原因になる病気はさまざまですが、早期に発見し 早期に治療をはじめることで、改善が期待できるものもあります。 メリット 2 進行を遅らせることができる

認知症の症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができる場合がある。 メリット3 事前にさまざまな準備ができる

早期発見によって、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い 今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを 調べたりする「認知症に向き合うための準備」を整え ることができます。

上天草市認知症ケアパス

①軽度認知障害 (MCI:まだ認知症ではない時期)

②症状があっても日常生活は自立している状態



本人の様子

- ●最近の出来事を忘れたり、約束の日時を間違えたりすることがある。
- ●よく知っている物の名前が出てきづらい、好きな趣味や集まりに行くのがおっくうで休みがちになる。(意欲が低下する、不安が強くなる)
- ●金銭管理や買い物など日常生活 は自立しているか、ミスはあって もおおむね自立している。

※この時期はうつ病と診断されることもある。(本人も周囲も気づきにくい。)

本人へのアドバイス

- ●地域の人とのつながりをもつ。
- ●生活習慣病の予防・治療を大事にする。
- ●生活リズムを整え、水分補給を忘れずに。
- ●今後の生活設計について考えておく。

家族の対応ポイント

- ●年齢のせいにせずに、早めにかかりつけ 医や相談窓口に相談する。
- ●認知症について学ぶ機会をもつ。
- ●消費者被害に注意する。
- ●家族の連絡先をわかるようにしておく。

相談	地域包括支援センター(高齢者ふれあい課)、在宅介護支援センター、 認知症初期集中支援チーム、かかりつけ医、認知症疾患医療センター、 認知症地域支援推進員(社協)、熊本県認知症コール センター、民生委員、区長
予防•改善	かよいの場、あっぷあっぷさろん、介護予防講座、健診
運動	スパ・タラソ、大矢野運動公園、アロマ
交流・役割・仕事	老人福祉センター、老人クラブ、生涯学習活動、認知症カフェ、 シルバー人材センター
安否確認・傾聴	小地域ネットワーク、配食、認知症協力応援隊員
介護保険利用相談	地域包括支援センター、ケアマネジャー
生活支援	家事サポート(民間)、配食
住まい	有料老人ホームなど
家族支援	家族介護者教室、家族介護者交流事業、認知症カフェ、 認知症介護者のつどい、地域包括支援センター、ケアマネジャー
もしもの時	消費生活センター、無料弁護士・司法書士相談(市)、警察

3潔知症が軽度の時期

~物忘れが目立ち始めるが、日常生活は自立~



本人の様子

- ●同じ話を何度もする。 時間や場所がわかりにくくなる。
- ●財布や通帳など大事なものをなくすことがある。車をぶつけることが増える。
- ●料理の段取りや家計の管理などに支障が出てくる。料理の味が変わったと家族に言われる。買い物に行くと同じものばかり買ってくる。

本人へのアドバイス

- ●生活リズムを整え、水分補給を忘れずに。
- ●かかりつけ医にアドバイスを求め、専門 医を紹介されたら受診してみる。
- ●介護のサポートを受けることを考える。

家族の対応ポイント

- ●家族だけで支えるのではなく、周囲に理解を求めて見守る人を増やす。
- ●かかりつけ医や専門医に相談する。
- ●介護保険サービスの利用を検討する。
- ●火の不始末など事故に備えて対策をとっておく。

相談	地域包括支援センター(高齢者ふれあい課)、在宅介護支援センター、 認知症初期集中支援チーム、かかりつけ医、認知症疾患医療センター、 認知症地域支援推進員(社協)、熊本県認知症コールセンター
予防•改善	かよいの場、あっぷあっぷさろん、介護予防講座、健診
運動	スパ・タラソ、大矢野運動公園、アロマ
交流・役割・仕事	老人福祉センター、老人クラブ、生涯学習活動、認知症カフェ、 シルバー人材センター
安否確認•傾聴	小地域ネットワーク、配食、認知症協力応援隊員
介護保険利用相談	地域包括支援センター、ケアマネジャー
介護	訪問系・通所系サービス、短期入所など
住まい	介護を受けられる有料老人ホーム、グループホームなど
家族支援	家族介護者教室、家族介護者交流事業、認知症カフェ、 認知症介護者のつどい、地域包括支援センター、ケアマネジャー
金銭管理	地域福祉権利擁護事業(社協)、成年後見制度
もしもの時	消費生活センター、無料弁護士・司法書士相談(市)、警察署

4認知症が中等度の時期

~日常生活に誰かの見守りや手助けが必要~



本人の様子

- ●日にち、曜日、季節感がわかり にくくなる。季節にあった服が選 べない。
- ●時間や場所がわからなくなることが増える。自宅から離れた所で 道に迷う。
- ●火の不始末や鍋焦がしが増える。 薬やお金の管理ができなくなる。
- ●家族とのトラブル、入浴を嫌がる、昼夜逆転、攻撃的な行動、焦り・不安。
- ●認知症で介護が必要となる。

本人へのアドバイス

- ●生活リズムを整え、水分補給を忘れずに。
- ●医療や介護のサポートを受ける。

家族の対応ポイント

- ●認知症を隠さず、身近な人たちに伝え、 理解者や協力者をつくる。
- ●頑張りすぎない介護をこころがける。
- ●同じように介護する仲間をつくる。
- ●医療や介護サービスを上手に利用する。

相談	地域包括支援センター(高齢者ふれあい課)、在宅介護支援センター、 認知症初期集中支援チーム、かかりつけ医、認知症疾患医療センター、 認知症地域支援推進員(社協)、熊本県認知症コールセンター
予防•改善	かよいの場、あっぷあっぷさろん、介護予防講座
運動	スパ・タラソ、大矢野運動公園、アロマ
交流・役割・仕事	老人福祉センター、老人クラブ、認知症カフェ
安否確認•傾聴	小地域ネットワーク、配食、認知症協力応援隊員
介護保険利用相談	地域包括支援センター、ケアマネジャー
介護	訪問系・通所系サービス、短期入所、訪問看護、薬の相談・管理 グループホーム、老人保健施設、特別養護老人ホームなど
家族支援	家族介護者教室、家族介護者交流事業、認知症カフェ、 認知症介護者のつどい、地域包括支援センター、ケアマネジャー
金銭管理	地域福祉権利擁護事業(社協)、成年後見制度
もしもの時	消費生活センター、無料弁護士・司法書士相談(市)、警察署

⑤認知症が重度の時期 ~事の回りのこと全般に介護が必要~



本人の様子

- ●直近のことだけでなく、古い記憶もあいまいになる。家族がわからなくなる。
- ●近所でも道に迷ったりする。
- ●服をうまく着れなくなる。身体 をうまく洗えなくなる。排泄の失 敗が増える。
- ●言葉によるコミュニケーション が難しくなる。
- ●ほぼ寝たきりの状態となる。

家族の対応ポイント

- ●がんばり過ぎない介護をこころがける。
- ●医療や介護サービスを上手に利用する。
- ●介護する家族の健康や生活も大切にする。
- ●同じように介護する仲間をつくる。
- ●自分の気持ちを話せる場所を作る。
- ●今後のことについて検討し、必要に応じて施設の情報収集などをする。
- ●人生の最期をどう迎えるか、早い段階 で医師などと話しておく。

相談	地域包括支援センター(高齢者ふれあい課)、在宅介護支援センター、 認知症初期集中支援チーム、かかりつけ医、認知症疾患医療センター、 認知症地域支援推進員(社協)、熊本県認知症コールセンター	
介護保険利用相談	地域包括支援センター、ケアマネジャー	
介護	訪問系・通所系サービス、短期入所、訪問看護、薬の相談・管理 グループホーム、老人保健施設、特別養護老人ホームなど	
家族支援	家族文援 家族介護者教室、家族介護者交流事業、認知症カフェ、 認知症介護者のつどい、地域包括支援センター、ケアマネジャー	
金銭管理	成年後見制度	